

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市垂水3丁目 新築工事	階数	地上12階
建設地	大阪府吹田市垂水	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	55 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2022年12月15日
敷地面積	475 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アイビー設計事務所玉橋
建築面積	245 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月15日
延床面積	2,134 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社アイビー設計事務所玉橋



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 13%

③上記+②以外の 13%

④上記+ 13%

0 46 92138 8430762268146505529545 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 内装材全てF☆☆☆☆を採用。	Q2 サービス性能 天井高さ2.5m以上	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 省エネ特性に配慮	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0126

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市垂水3丁目 新築工事						
	建設地	大阪府吹田市垂水						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						1	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	1	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				1.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				1.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	特になし						